平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

地域循環型山村ルネッサンス事業 モデル事業名 域 山形県上山市山元地区 対象地域の概要 地域活動の拠点となる学舎 山また山にて綴られた谷合いに形成された山村風景 提案内容の概要 地域資源、人財、伝統技術、施設を繋ぐことによって、地域ブランド産品をつくり、地域における新 しい雇用を創出し、高齢者の働き甲斐を生み出す。地域ブランド産品の販売で得た収益は、助け合い支 え合い等暮らし安心、伝統文化の継承に還元する地域の活力を生み出す地域経済循環の仕組みの実現を 目指す。 提案する活動の内容 平成19年度に山形県による地域コミュニティ再生促進事業のモデル地区に選定され8回のワーク (1)地域の課題 ショップ「これからの地域づくりを考える会」により3つの優先課題を絞り込んだ。 ①地域資源の発掘と活用 ②安全安心身近な助け合い ③休校学舎の再活用 3つの課題を実践するため、平成20年度当該事業に応募し選定され2つのテーマで取り組んだ。 ①地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取り組み ②休校学舎の活用と助け合い支え合い その結果、特徴的な山村ブランド(食文化、林業、ツーリズム)の一体的な商品化、学舎に山びこ村の 機能をどう集積するか、この2点について引き続き取り組む必要がある。 (2)活動内容の案 スローフードの発信 古来から食されてきた暮らしの知恵と山の幸を巧みに生かした山元固有の伝統食「ごんぱ餅」*の-貫した生産態勢の確立と「蕎麦」と「食用ホオズキ」の付加価値づくりに取り組む。 ☑ 商品の品質確保と付加価値づくり 食品衛生教育、商標登録、蕎麦と食用ホオズキの加工研究

☑ 栽培の普及向上

自生地保全、育苗、栽培技術講習

_	
	□ 商品の魅力づくりと販売戦略
	地域ブランド産品づくり、マーケティング調査
	*「ごんぱ餅」は、山地に自生する植物オヤマボクチの葉の綿毛を練り込んだ餅。
	学舎の再活用
	名作「山びこ学校」ゆかりの学舎について、地域が目指す山村協同組合「山びこ村」の多様な機能の
	集積を図るため、実施計画を策定する。
	□ 山びこ学校活用検討委員会
	農産加工所の確保
	暮らし安心
	「こういうのがあったら安心」といった安全安心の手立てについて追究する。
	■ 路線バスシルバーボックスの試行
<u>+ + - + 7</u>	لله = ٥ ص. ال
応募団体名	山びこ村
リンク	http://www.ekaminoyama.jp
部局/担当者名	上山市経営企画課 長橋康夫
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
連 絡 先	023(672)1111 内線221
推薦市町村名	山形県上山市
I	